

2020.7【vol.85】

水レター「びわ湖・よど川」

独立行政法人水資源機構 関西・吉野川支社淀川本部 発

水資源機構全体の取り組みや関西管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水レター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

index

- | | |
|------------------------------------|------|
| 1. 関西管内の水源地状況と気象 | 1 p |
| 2. 関西管内の主な出来事 | 5 p |
| 3. 令和2年7月豪雨における関西管内施設の洪水調節実施状況について | 6 p |
| 4. 事前放流の運用開始 | 8 p |
| 5. 川上ダム進捗状況 | 9 p |
| 6. 青蓮寺ダム・正蓮寺川利水施設 管理開始50周年！ | 11 p |
| 7. 近畿地方整備局研究発表会に参加しました | 12 p |
| 8. 新型コロナウイルス感染症対策の取り組み | 13 p |



1. 関西管内の水源状況と気象

(1) 関西管内の水源状況（2020年7月）と今後の見通し

関西管内の各ダム流域における今年7月の水源状況は次のとおりです。

7月のダム地点降水量は平年値を大きく上回っており、7月31日現在の貯水率は、高山ダムは平年値通り、その他の施設は平年値以上となっております。

なお、気象庁の降雨予報によると、8月の降水量は平年並みか多い見込みです。今後の水源状況に注意してまいります。

(7月31日9:00時点)

施設名	所在地 (予報区)	ダム地点降水量		ダム貯水率	
		(mm)	(平年値)	(%)	(平年値)
高山ダム	京都府山城南部	377	171	90.3	90.4
青蓮寺ダム	三重県伊賀	329	188	97.8	95.8
室生ダム	奈良県北東部	434	194	94.8	87.3
布目ダム	奈良県北西部	424	172	97.1	92.1
比奈知ダム	三重県伊賀	334	198	97.1	95.2
一庫ダム	兵庫県阪神	563	184	99.1	90.9
日吉ダム	京都府南丹・京丹波	399	167	96.0	90.0
琵琶湖	滋賀県全域	431	213	BSL-0.13m	BSL-0.22m

※ダム地点降水量は7月1日～30日までの累計雨量です。

※ダム地点降水量平年値は7月の累計降水量の平年値です。

※ダム貯水率・平年値は7月31日の値（洪水期の利水容量割合）です。

(2) 関西管内水源情報について

関西管内における各ダムの貯水状況、補給状況等詳細情報は、関西・吉野川支社淀川本部ホームページの水源情報に掲載しておりますのでご覧下さい。

水資源機構関西・吉野川支社淀川本部HPアドレス

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigen/suigen.html>

(参考) 気象情報 (大阪管区気象台HPより抜粋)

① 近畿地方の天候 (2020年6月)

上旬は、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。中旬は、梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所がありました。下旬は、天気は数日の周期で変わり、低気圧が発達しながら日本海を東北東に進んだ影響で、大雨や大荒れとなった所がありました。

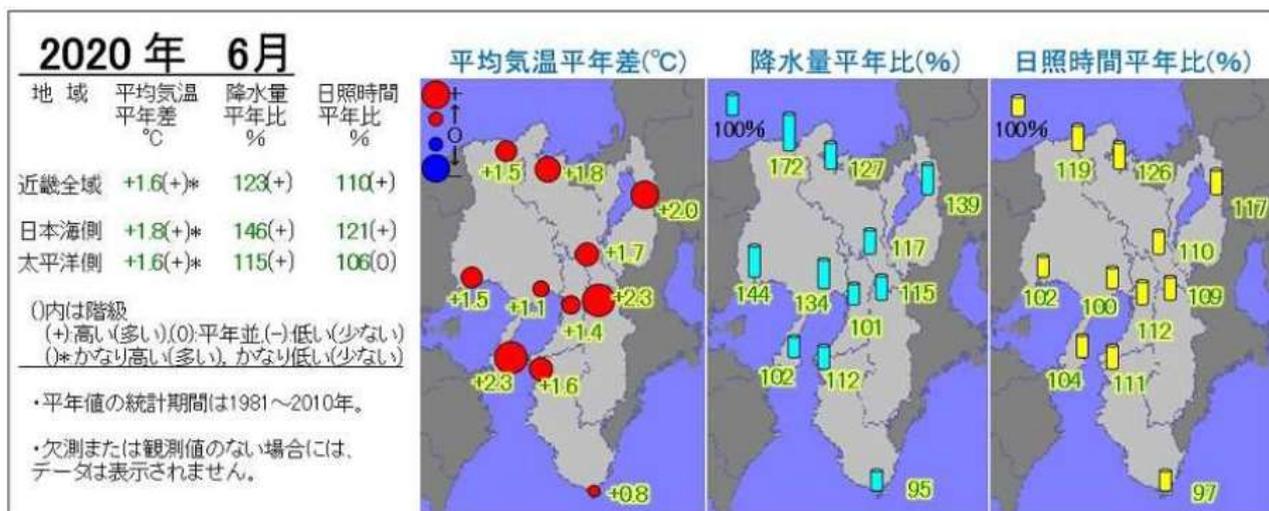
また、近畿地方の6月の平均気温は平年差+1.6℃で、1946年の統計開始以来、高い方から第1位となりました。

上旬：高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。期間の終わりは、梅雨前線や湿った空気の影響で、太平洋側では大雨や荒れた天気となった所がありました。

中旬：梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所がありました。

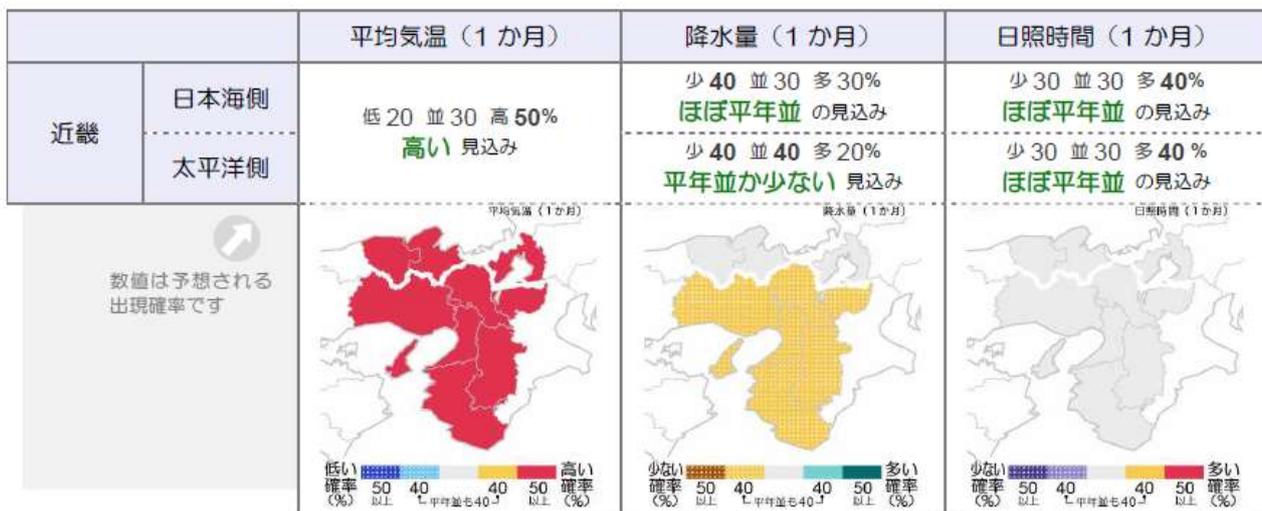
下旬：天気は数日の周期で変わりました。期間の終わりは、低気圧が発達しながら日本海を東北東に進んだ影響で、大雨や大荒れとなった所がありました。

	上 旬		中 旬		下 旬	
	気 温	降水量	気 温	降水量	気 温	降水量
日本海側	かなり高	かなり少	高	かなり多く	高	少なく
太平洋側	かなり高	少なく	高	かなり多く	高	少なく



② 近畿地方の天候の見通し（大阪管区気象台HPより抜粋）
 1ヶ月予報（8月1日から8月31日まで）

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の平均気温は高い見込みです。また、向こう1か月の降水量は、太平洋側では湿った空気の影響を受けにくいいため、平年並か少ない見込みです。

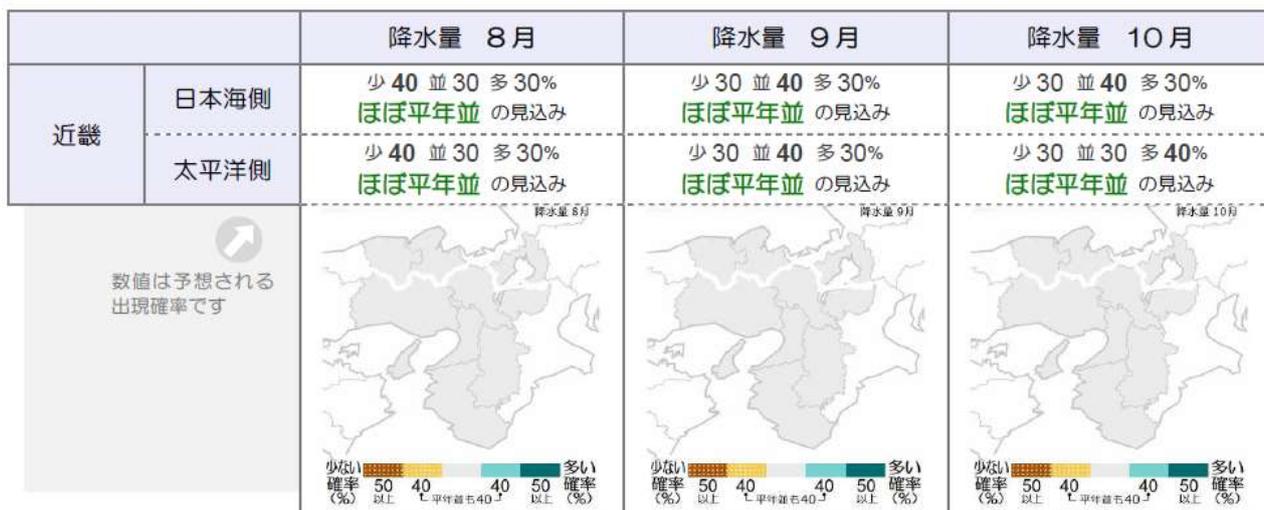


3ヶ月予報（8月から10月まで）

8月 平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

9月 天気は数日の周期で変わる見込みです。

10月 天気は数日の周期で変わり、太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。



流域・水源の雨量・貯水量・ダムからの補給量一覧表

2020年7月31日 9時00現在

ダム名	水位(※2)		貯水量(※1.2)				流量(※2)		補給量(過去3ヶ月:5月~7月)(※3,4,6)						雨量(過去3ヶ月:5月~7月)(※5,6)				
	貯水位 (標高m)	貯水量 (万m3)	貯水率 (%)	平年 貯水量 (万m3)	平年 貯水率 (%)	貯水量 平年比率 (%)	ダム流入 量 (m3/s)	ダム放流 量 (m3/s)	当日9時の 補給量 (m3/s)	累計補給 量(過去3ヶ 月) (万m3)	平年ダム 累計補給 量(過去3ヶ 月) (万m3)	補給量平 年比率 (過去3ヶ月 (%))	R2.7月 補給量(1 日~30日) (万m3)	平年7月 月間補給 量 (万m3)	累計雨量 (過去3ヶ月) (mm)	平年累計 雨量 (過去3ヶ月) (mm)	雨量平年 比率 (過去3ヶ月) (%)	R2.7月 降水量(1 日~30日) (mm)	平年7月 月間雨量 (mm)
高山ダム	116.03	1,246	90.3	1,248	90.4	99.9	27.19	25.04	0.0	3,210	3,644	88.1	1,317	992	758	501	151.2	377	171
青蓮寺ダム	272.56	1,506	97.8	1,476	95.8	102.0	4.46	4.22	0.0	433	505	85.7	131	179	660	498	132.5	329	188
室生ダム	289.06	773	94.8	712	87.3	108.6	4.68	4.72	0.0	554	680	81.5	263	354	815	519	157.1	434	194
布目ダム	280.18	971	97.1	921	92.1	105.4	5.96	4.86	0.0	297	380	78.2	77	142	830	502	165.5	424	172
比奈知ダム	291.53	913	97.1	895	95.2	102.0	5.06	5.00	0.0	580	644	90.1	149	211	674	516	130.7	334	198
一庫ダム	135.14	1,317	99.1	1,209	90.9	109.0	5.59	4.25	0.0	841	1,228	68.5	332	440	904	490	184.5	563	184
日吉ダム	178.04	1,535	96.0	1,439	90.0	106.7	27.89	24.13	0.0	1,995	2,433	82.0	731	863	734	436	168.4	399	167

湖沼名	水位(※2)			雨量(過去3ヶ月:5月~7月)(※5,6)				
	(B.S.L)	平年 水位 (m)	平年値との 差 (m)	累計雨量 (過去3ヶ月) (mm)	平年累計 雨量 (過去3ヶ月) (mm)	雨量平年 比率 (過去3ヶ月) (%)	R2.7月 降水量(1 日~30日) (mm)	平年7月 月間雨量 (mm)
琵琶湖	-0.13	-0.22	0.09	805	547	147.0	431	213

流域名	雨量(過去3ヶ月:5月~7月)(※7,8,9)				
	累計雨量 (過去3ヶ月) (mm)	平年累計 雨量 (過去3ヶ月) (mm)	雨量平年 比率 (過去3ヶ月) (%)	R2.7月 降水量(1 日~30日) (mm)	平年7月 月間雨量 (mm)
枚方上流域	818	533	153.5	440	205
桂川流域	931	535	174.0	542	208
宇治川流域	807	538	150.0	430	202
木津川流域	710	515	137.9	365	191
猪名川流域(※9)	369	487	75.8	454	175

※1 貯水率は、6月16日より洪水期の利水容量で計算しております。

※2 貯水位(琵琶湖を除く)、貯水量、流量は当日9時のデータです。琵琶湖水位は当日6時の値です。

※3 補給量は当日0時までのダム放流量と流入量の差を累計した値です。

※4 当日9時の補給量は瞬時値として当日9時における放流量と流入量との差で表しております。

※5 雨量は当日0時までの累計値です。

※6 補給量、雨量(琵琶湖除く)の平年累計値は平成11年4月以降(7ダム管理開始)からのデータを使用しております。

琵琶湖雨量の平年累計値は平成4年4月以降からのデータを使用しております。

※7 暫定値であり数値は変動する場合があります

※8 雨量の平年累計値は平成6年からのデータを使用しております。(24年間)

※9 猪名川流域は、ダム下流の上池田地点雨量を使用しております。

(出典:国土交通省水文水質データベース)

2. 関西管内の主な出来事

関西管内における前号発行（令和2年5月31日）以降の主な出来事をお知らせします。

- 6月24日（水）： 防災勉強会（参集基準、操作方法等）を実施（中津川管理室）
- 25日（木）： 中津川管理室第1回安全協議会を実施（中津川管理室）
- 25日（木）： 令和2年度近畿地方整備局研究発表会が開催
- ～26日（金）
- 25日（木）： 令和2年度新規採用職員研修を実施（川上ダム、木津川総管）
- ～26日（金）
- 26日（金）： 気象講習会を実施（淀川本部）
- 7月2日（木）： 関西・吉野川支社第1回安全協議会を実施（淀川本部）
- 8日（水）： 建設技術講演会（大阪キャッスルホテル）に参加
- 15日（水）： 一庫ダム水源地域ビジョン推進協議会（第18回）の開催（書面開催）
- 15日（水）： 令和2年度関西・吉野川支社優良工事等表彰を実施（淀川本部）
- 17日（金）： 水害に強い地域づくり協議会（京都、大阪）に参加
- 20日（月）： 木津川治水会意見交換会（城陽市消防本部）に参加
- 30日（木）： 防災勉強会（水質事故対応訓練）を実施（中津川管理室）



3. 令和2年7月豪雨における関西管内施設の洪水調節実施状況について

令和2年7月豪雨で被災された地域の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

水資源機構関西管内の施設におきましては、活発な梅雨前線の停滞に伴う豪雨に対して、日吉ダム管理所及び一庫ダム管理所で洪水時の防災操作を実施しました。

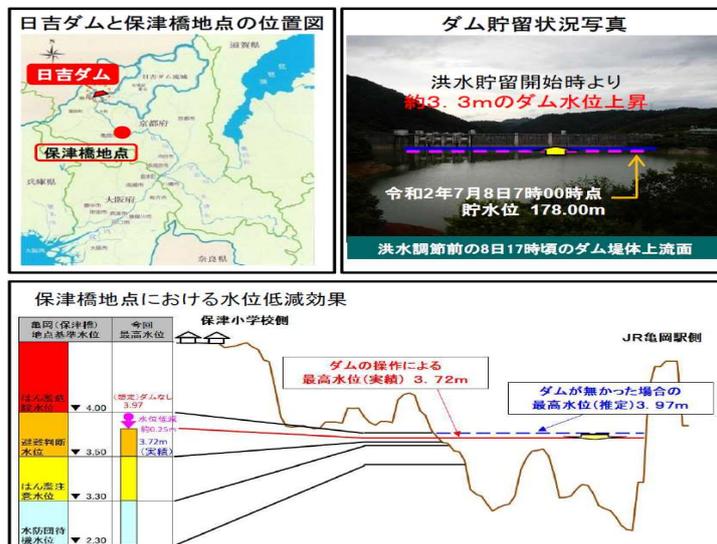
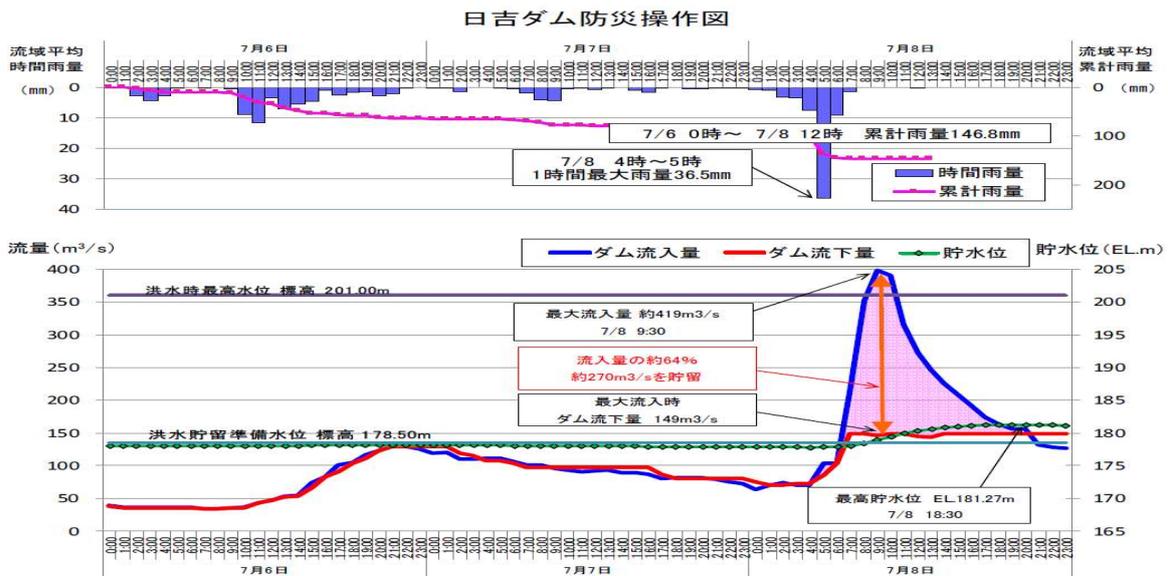
また、6月19日には布目ダムで、7月7日には一庫ダムで事前放流を行っています。

【日吉ダム】

淀川水系桂川の日吉ダム流域では降り始めの6日0時から8日12時までの総雨量が146.8mm(流域平均累計雨量)となりました。この降雨により、ダムへの流入量は、最大毎秒419立方メートルを記録しましたが、最大流入量の約64%(毎秒270立方メートル)を低減させ、同時刻における放流量を毎秒149立方メートルとしました。

この一連の操作により、洪水(京セラドーム大阪[※]約4杯分(477万立方メートル)に相当する量)をダムに貯留し、ダム下流の保津橋地点(亀岡市保津町下中島地先)では、約0.25m以上の水位低減効果があったものと推定されます。

([※]京セラドーム大阪の容量を120万立方メートルとして算出)

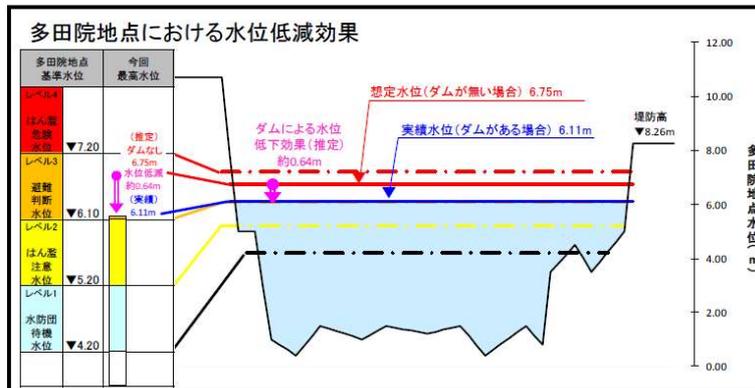
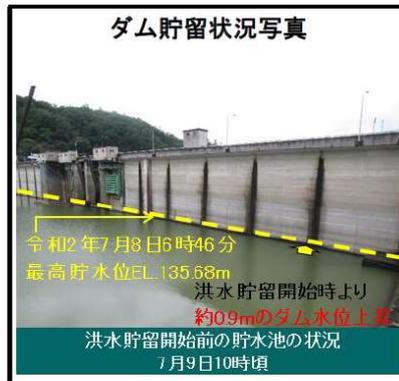
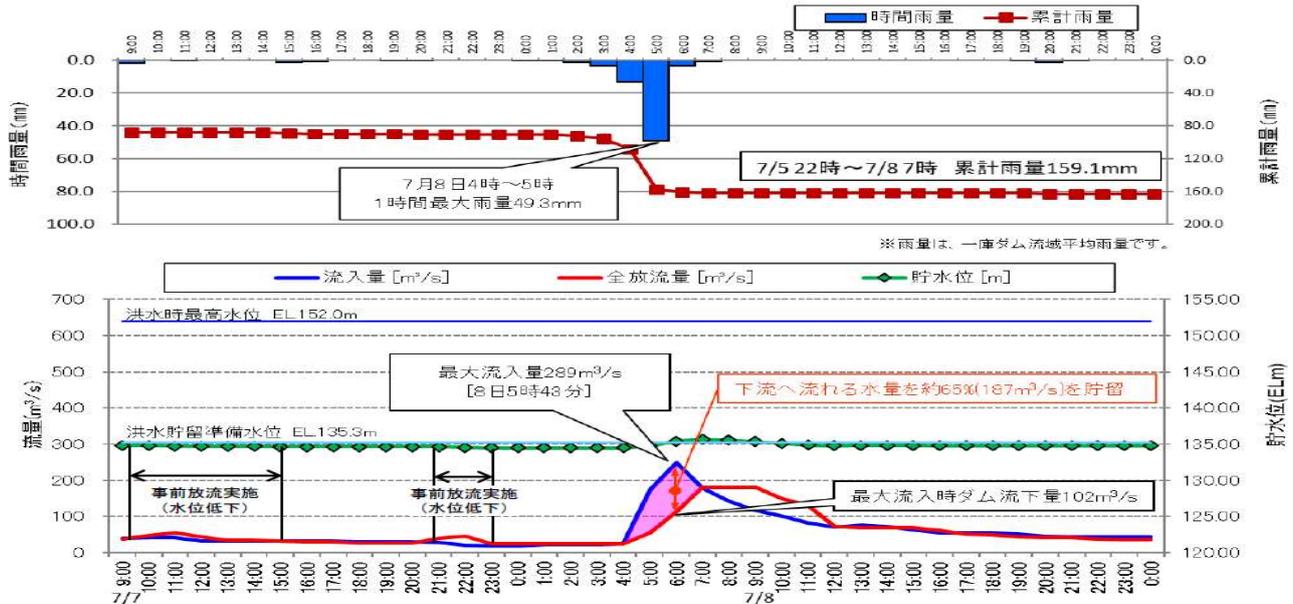


【一庫ダム】

淀川水系猪名川の一庫ダム流域では降り始めの5日22時から8日7時までの総雨量が159.1mm(流域平均累計雨量)となりました。この降雨により、ダムへの流入量は、最大毎秒289立方メートルを記録しましたが、最大流入量の約65%(毎秒187立方メートル)を低減させ、同時刻における放流量を毎秒102立方メートルとしました。

この一連の操作により、洪水(京セラドーム大阪約0.5杯分(約68万立方メートル)に相当する量)をダムに貯留し、ダム下流の多田院水位観測所地点(川西市多田院地先)では、約0.64m以上の水位低減効果があったものと推定されます。

一庫ダムの防災操作図



4. 事前放流の運用開始

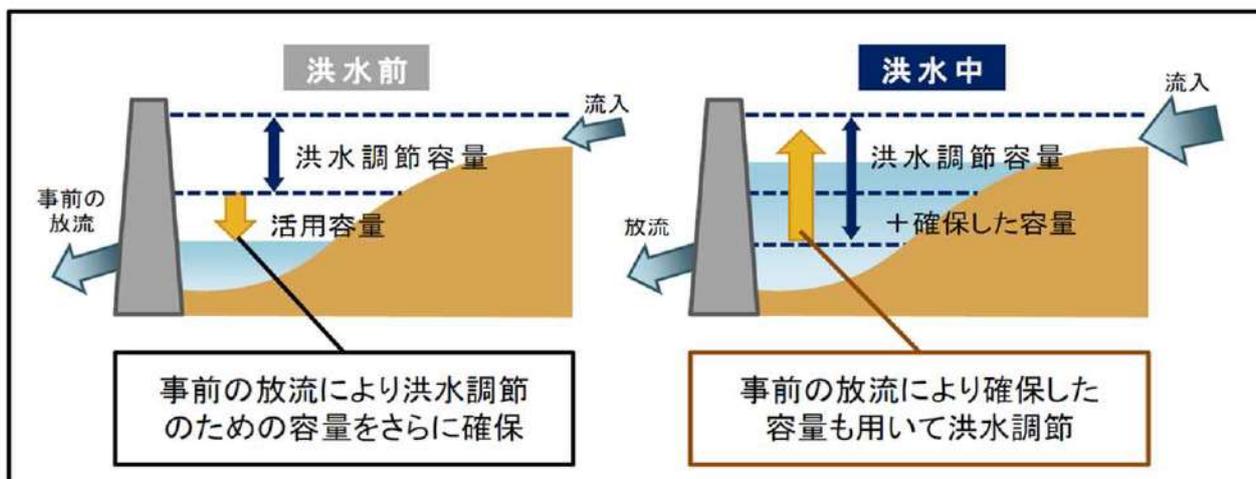
(1) 事前放流の運用開始及び淀川水系治水協定の締結

水資源機構が淀川水系で管理する全7ダムにおいて、関係者と合意した事前放流ルールにより、事前放流の運用を開始しています。

また、水害の激甚化を踏まえ、ダムによる洪水調節機能の早期の強化に向け、淀川水系の河川管理者、ダム管理者及びダム参画利水者で構成する協議の場を開催し、治水協定（案）について令和2年5月29日に合意しています。

(2) 事前放流とは

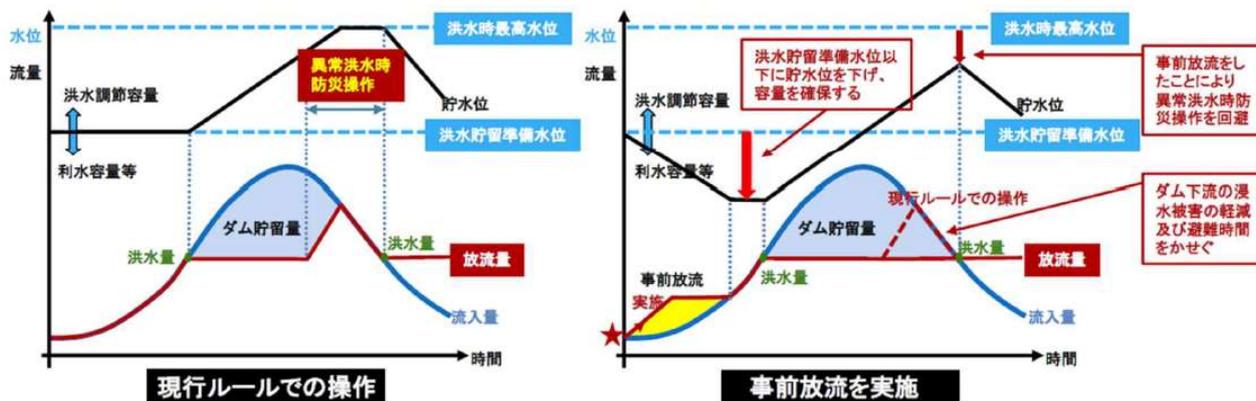
計画規模を上回る洪水が想定された場合に、ダムの容量の一部を洪水の発生前に放流し、洪水調節容量を一時的に増やす操作です。



(3) 事前放流の効果

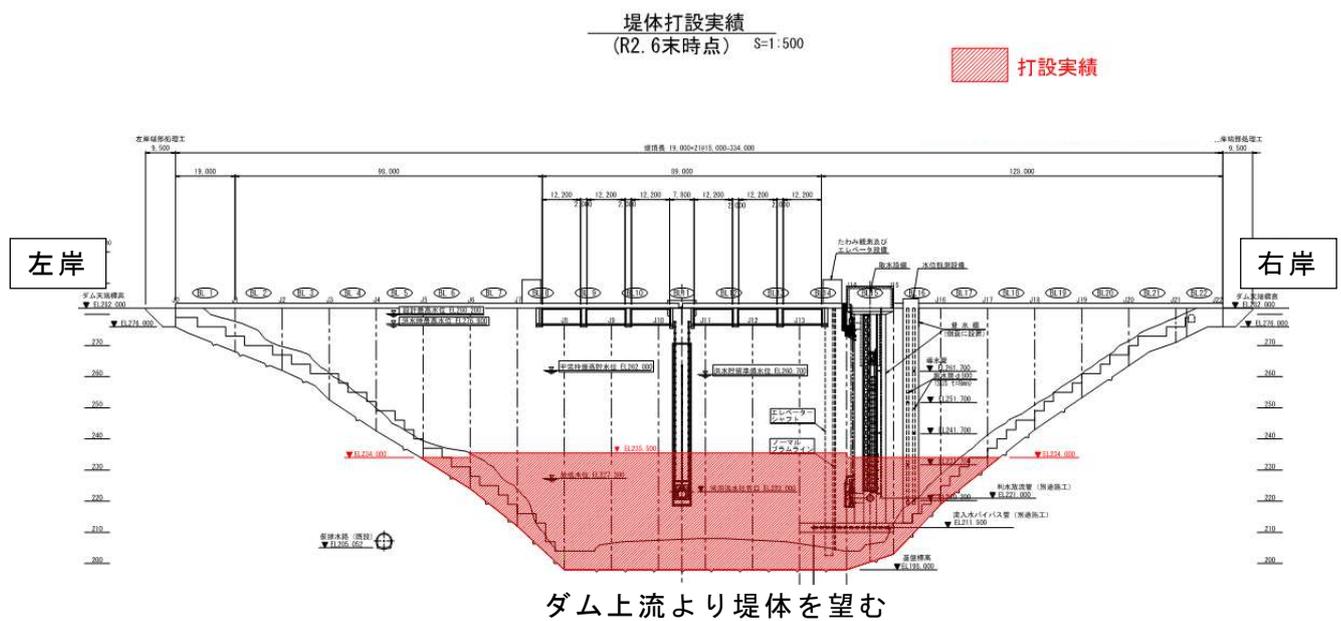
洪水調節容量を使い切ることを回避（異常洪水時防災操作移行の回避）することや異常洪水時防災操作を遅らせることにより、ダム下流の浸水被害の軽減及び避難時間を確保することができます。

<実施のイメージ>



5. 川上ダム進捗状況

川上ダム建設工事について、令和2年6月末時点の進捗状況をご紹介します。
 ○堤体コンクリート打設は5月22日に20万m³に到達しています。現在の打設量は24万m³（進捗率：約52.8%）で、ダムの高さは約37.5m（全体84m）まで立ち上がりました。
 ○減勢工の側壁が姿を現してきました。



○川上ダム観眺台（みてちょうだい）の一般見学場所を開放しています。
また、毎月第3日曜日実施の工事現場見学会を再開しています。

新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みとして、「川上ダム観眺台」の一般開放中断及び毎月第3日曜日実施の「工事現場見学会」について開催を見合わせていましたが、6月1日より「川上ダム観眺台」の一般開放を再開し、「工事現場見学会」についても人数を絞り募集を再開しています。施設の利用、見学会の参加に当たっては、マスクの着用やソーシャルディスタンス確保等のご協力をお願いしています。

なお、密閉空間での説明となる情報館は、引き続き閉鎖となっております。ご了承くださいませようお願いします。



工事現場見学会再開の様子



眺望台と案内バスのソーシャルディスタンス確保のお願い

川上ダム建設所 HP ではダムサイトのリアルタイムカメラの映像（遠景）がご覧いただけます。

また、公式 Twitter ではコンクリート打設の動画や環境調査の情報等、各課職員から様々なつぶやきが発信されています。

是非アクセスしてみてください。



川上ダム建設所 HP 工事進捗カメラ
<https://kawakamidam-cam.arksystem.jp/>

川上ダム建設所 公式 Twitter
https://twitter.com/jwa_kawakami

6. 青蓮寺ダム・正蓮寺川利水施設 管理開始 50 周年！

青蓮寺ダム（名張市）と正蓮寺川利水施設（大阪市）は、令和2年7月に管理開始から50周年を迎えました。これからも引き続き、地域の安心安全を最優先に適切な管理を行ってまいりますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



(青蓮寺ダムホームページ)

<https://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/syorenji.htm>



(中津川管理室ホームページ)

<https://www.water.go.jp/kansai/nakatsu/index.html>

7. 近畿地方整備局研究発表会に参加しました

令和2年6月25日、26日の2日間にわたり、「令和2年度近畿地方整備局研究発表会」が開催されました。

今回は新型コロナウイルス感染症対策のため無観客開催で、発表者はWEB会議システムで発表しました。

水資源機構から論文6題をエントリーし、以下の1題が奨励賞を受賞しました。

▼奨励賞

- ・ 部 門： イノベーション部門 I
- ・ 題 名： 「川上ダム建設事業における CIM 構築とその活用事例」
- ・ 発 表 者： 川上ダム建設所調査設計課 馬場 貴裕



受賞論文については、下記リンク先からご覧下さい。

「川上ダム建設事業における CIM 構築とその活用事例」



<https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/happyou/theses/2020/pdf04/ino1-14.pdf>

8. 新型コロナウイルス感染症対策の取り組み

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方には、心からのお悔やみを申し上げますとともに、現在治療をされている方の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

淀川本部では、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、『安全で良質な水を安定して安くお届けする』という使命を胸に、感染拡大の防止のため、必要な対策に取り組んでおります。

勤務体制

班体制による交替勤務
時差出勤
在宅勤務



飛沫感染、接触感染の防止

マスクの着用、手指消毒、手洗い・うがいの徹底
パーテーション・フェイスシールドの導入
共有部分の消毒

3密（密閉・密集・密接）の防止

人数を制限、配置を工夫したウェブ会議、常時ドアの開放



今号の水レター「びわ湖・よど川」はいかがでしたでしょうか。

水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望、ご意見がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。

mailto:kansai_risuisya@water.go.jp

『vol.86 は、9月下旬に発行する予定です。』